

Part I

1 How are you? 元気ですか?	1	21 It's all right 大丈夫です。	21
2 Thanks ありがとう。	2	22 I'm afraid 怖いです。	22
3 Be careful 気をつけて。	3	23 You Should そうすべきです。	23
4 Come on さあ行こう。	4	24 How many? いくつ?	24
5 I'm sorry ごめんなさい。	5	25 I'm glad うれしいです。	25
6 Let's go さあ行こう。	6	26 You're right その通り。	26
7 I don't know. わかりません。	7	27 I'm sure 確信しています。	27
8 I can できます。	8	28 Tell me 言って。	28
9 Can I? してもいい?	9	29 I see なるほど。	29
10 Can you? やってくれる?	10	30 That's all それで全部です。	30
11 Could you? してもらえますか?	11	31 It's great 素晴らしいです。	31
12 Do you remember? 覚えてますか?	12	32 I forgot 忘れました。	32
13 Are you alright? 大丈夫ですか?	13	33 I'm tired 疲れました。	33
14 Do you know? 知ってる?	14	34 I want to そうしたい。	34
15 I could 頼まればできます。	15	35 I'm ready 準備できました。	35
16 Just try とにかくやってみなさい。	16	36 I remember 覚えています。	36
17 It's okay 大丈夫です。	17	37 You know わかってるでしょ。	37
18 Excuse me 失礼します。	18	38 May I? してもよろしいですか?	38
19 I know わかります。	19	39 Are you interested? 興味はありますか?	39
20 I agree 賛成です。	20		

40 Please don't やめてください。	40	60 It sure is 本当にそうですね。	60
41 You can. あなたならできます。	41	61 Don't bother 悪いからいいですよ。	61
42 Who are you? 誰だ？	42	62 Nobody knows さあどうでしょう。	62
43 I wonder どうでしょう。	43	63 What can I do 何かしましょうか？	63
44 I wish そうならいいけど。	44	64 I'd like to そうしたいです。	64
45 What's wrong? どうしたの？	45	65 I'm thinking 考えてます。	65
46 Do you mind? いいですか？	46	66 Let's talk 話しましょう。	66
47 I should have そうすればよかった。	47	67 I'll see 調べてみるよ。	67
48 How can I? どうやって？	48	68 I'm going 出掛けてきます。	68
49 You'd better そうした方がいいよ。	49	69 Who knows? さあどうだかね。	69
50 What do you think? どう思う？	50	70 Why don't you? そうすれば？	70
51 I have to やらなきゃならない。	51	71 What do you want? 何が希望なの？	71
52 How do you know? どうして知ってるの？	52	72 Let me 私にやらせて。	72
53 I tried やってみました。	53	73 What else? 他には？	73
54 I hope そうだといいね。	54	捨てないで。	
55 I'd like you to あなたにそうしてもらいたい。	55	74 Take it 持って行って。	74
56 I'll tell you (強調して) まったく。	56	75 Would you? してもらえますか？	75
57 I'm trying 努力はしてます。	57	76 I might そうするかもしれません。	76
58 I wouldn't 私ならそんなことしません。	58		
59 Keep it	59		

状況：あいさつ

How are you?

お元気ですか？

日常的によく使われる挨拶です。

同意表現には How's it going? How are you doing? などがあります。
気軽に砕けた感じの使い方になります。

また、理由や方法を相手に尋ねるときにもこの表現が使えます。

How are you going to? 「どのように...するのですか？」

How are you so? → 「どうしてそんなに...なのですか？」の意味になります。

街で久しぶりの友人とばったり会いました。

How are you doing?

元気？

病気で学校を休んでいた友達が出て来ました。そんな友達に一言。

How are you feeling?

気分はどう？

最近彼女とあまり話をしてないけど！

彼女とうまくいつてるのか心配です。

How are you with her?

彼女とはうまくいつてるの？

隣の家族が旅行に行くらしい。車でいきますか？それとも電車？

How are you going to go?

何で行くつもりですか？

夏休みももうすぐ終わり、宿題がまだ沢山残っているのに

心配ないと言ってるけど、どうするつもりだろう？

How are you going to do it?

どうやるつもりなの？

状況：感謝の気持ちを伝える

Thanks.

ありがとう。

Thanks.は「ありがとう」「助かります」など、お礼を言うときのひとことです。
Thank you.とのはっきりとした違いはありませんが、
どちらかと言えば Thanks.のほうがより親近感のあるひとことになります。
また、カジュアルすぎることもないので、フォーマルにも、ビジネスにも使えます。

道が分からなくて困っていると、通行人が教えてくれました。
感謝の意を表してこういしましょう。
Thanks so much.
どうもありがとうございます。

今日、地元に戻ります。帰郷先で親類にお別れのあいさつ。
感謝を込めてお礼を言います。
Thanks for all your help.
いろいろとお世話になったね。

引越しの時に隣人の女の子が助力を申し出てくれました。
でも、後は重いものを運ぶだけなので手伝ってもらえることはありません。
そんな時はお礼を言って断ります。
Thanks anyway.
それでもありがとう。

レストランでウエイトレスにコーヒーのおかわりを勧められました。
気遣いありがとう、でももう結構です。
Thanks, but no thanks.
ありがとう。でも結構です。

道で倒れたあなたに通りがかった人が救急車を呼んでくれました。
心から感謝して...。
Thanks for saving my life.
命を救ってくれてどうもありがとう。

結婚披露宴は大成功。
何カ月も前から準備をしてくれた友人達に感謝を込めて...。
Thanks to you, everything was great.
ありがとう、あなたのお陰ですべてが素晴らしかったわ。

状況：忠告、注意をする

Be Careful.

気をつけて

Be careful. は相手に何かを忠告するときを使う表現です。

これだけで使えば「気をつけて/注意して」

といった感じです。

Be careful not to... 「...しないように気をつけて」

Be careful to... 「...するよう注意して・・・を忘れないようにして」、

Be careful with... (...「人」には気をつけて) といった使い方をします。

娘が危なっかしい手つきで野菜を刻んでいるので忠告します。

Be careful not to hurt yourself

怪我しないように気をつけて。

電気を大切にしようみんなに呼びかけます。

Be careful to turn off the light

電気を消すように注意して。

最近空き巣の被害が多いので戸締りをするように

家族に注意します。

Be careful to lock up

戸締まりを忘れないように。

庭で子供たちが走り回っています。転ばないように、注意します。

Be careful not to fall

転ばないように気をつけて。

彼の友達にはあまり良くない噂が、彼が危ないことに

巻き込まれないように警告しておくことに。

Be careful with him

彼には気をつけて。

彼氏の誕生日サプライズパーティーを開く計画。

本人にはパーティーの事を知られないようにと仲間に忠告。

Be careful not to tell him anything

彼には何も言わないように。

状況：相手を急がす

Come on.

さあ行こう。

Come on. は「行こうよ」、「早く」といった意味です。
ただし、on を強く発音すると意味が変わり「お願いだよ」

と懇願したり、「いい加減にしろよ」と相手を非難するひとこととなります。

例えば、Come on. Let me use your pen.
「お願いだよ。君のペンを使わせてよ」、

Come on. I know you're lying.
「いい加減にしろよ。嘘をついてるのはわかってるんだ」といった風になります。

「元気を出せ」「頑張れ」と相手を励ますときにも使います。

終電を逃した同僚が困ってました。
自宅まで徒歩で行ける距離なので勧めてみます。

*over (話し手の) 家に

1. Come on over.
うちにおいでよ。

田舎の叔父が用事で近くに来るらしい。
訪ねてくるように伝えます。

*by人の家に「へ」

2. Come on by.
うちにも寄ってくださいね。

誰かがドアをノックしました。
見ると、打ち合わせ予定のお客様が来社されたようです。
ドアを開けてひとこと。

3. Come on in.
どうぞ入ってください。

状況：謝罪・同情する

I'm sorry.

ごめんなさい。

I'm sorry.には日本語では3つの意味があります。

1つは謝罪の意味。「ごめんなさい」「申し訳ありません」

もう1つは同情の意味。「かわいそうに」「お気の毒に」と不幸な境遇の人に使います。

I'm sorry?と尻上りに発音すると、「もう一度言ってください」

と聞き返すことばにもなります。

彼女と映画の約束、待ち合わせ場所に遅れてしまいました。

まずは謝ります。

I'm sorry for being late.

遅れてごめんなさい。

友達が彼氏と大喧嘩！泣いている彼女をなぐさめようとひとこと。

I'm sorry to hear that.

それはかわいそうに。

飲み屋で隣の子から言い寄られて困ってしまい、僕には奥さんが。

I'm sorry, but I'm married.

悪いけど結婚してるんだ。

友達の猫が病気で急死と聞いて

すぐに電話して悲しんでいる友達を励まします。

I'm sorry about your cat.

ネコちゃんのこと残念だったね。

自分の責任で同僚にとっても迷惑を掛けてしまいました。

心から謝罪して。

I'm sorry from the bottom of my heart.

心から謝罪します。

友達と喧嘩。ひどいことを言ってしまったと反省してます。

電話して謝ることに。

I'm sorry I said that.

あんなこと言ってごめんね。

状況：出発前にかける

Let's go.

さあ行こう。

Lets go, は「さあ行こう」「さあ行くぞ」といった感じのひとつです。
また、一緒に出掛ける相手の準備がなかなか終わらないときなどに、
イライラした様子で使えば「早く行こう」と相手を急かすひとことにもなります。

Let's... は「...しよう」「...しようよ」と、相手に何かを提案する
ときによく使われる言葉です。

寒がって遊びたがらない子ども達に元気に声を掛けます。

Let's go out.

お出掛けしましょう。

*go out出掛ける

父親から釣り竿をもらいました。うれしくなって友人を釣りに誘います。

Let's go fishing.

釣りに行こう。

明日は大事な報告会です。失敗しないよう、報告書をもう一度見直すことに。

Let's go over this report.

この報告書を見直ししておこう。

*go over見直す、読み返す